



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東
コード番号 3640 URL <https://www.ndensan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 穂川 尚実 TEL 026-224-6666
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,043	△2.2	97	△55.8	102	△55.4	55	△64.3
2023年3月期第2四半期	7,203	1.2	220	△50.3	231	△48.2	155	△47.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 68百万円 (△53.2%) 2023年3月期第2四半期 145百万円 (△46.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	11.04	11.02
2023年3月期第2四半期	31.00	30.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	18,701	8,874	47.4	1,760.91
2023年3月期	20,179	8,921	44.1	1,775.89

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,860百万円 2023年3月期 8,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	17.00	—	28.00	45.00
2024年3月期	—	17.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△1.7	1,250	△50.1	1,248	△50.2	867	△46.2	172.99

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	5,837,200株	2023年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	805,381株	2023年3月期	821,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	5,019,753株	2023年3月期2Q	5,010,839株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における活動制限の緩和や5類への引下げのほか、個人消費や設備投資の持ち直しが続いていること等により、緩やかに回復しております。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される一方、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

情報サービス産業におきましては、ソフトウェア投資は増加しており、デジタル化や省力化を背景にした投資が続くことが期待されます。

このような状況のもとで、当社グループは、公共分野において、市区町村向けの各種システムのリプレイス、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた行政サービスのデジタル化に寄与する製品・サービスの提案、また、産業分野において、リース業向けのリース業務パッケージ、医療福祉機関向けの病院情報関連システム、製造業向けの販売管理システム、AI関連システム等の提案及び受注活動に注力しました。さらに、国が定める標準仕様に基づいたシステムを当社の開発計画に沿って進めるとともに、Intumit Inc. (インツミット株式会社) との間でAI分野に関する包括的協業契約を締結し、生成AIチャットボット「SmartRobot × Azure OpenAI Service」の販売を新たに開始したほか、電子帳簿保存法対応の新サービスの開発と提供を実施しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、公共分野での基幹系システムのリプレイス、自治体情報セキュリティ対策における機器等のリプレイス、各種交付金や給付金への対応等、また産業分野での各種システム導入及び機器販売等により、前年同四半期とほぼ同等の売上を確保しました。利益につきましては、研究開発への投資により、前年同四半期と比べ、減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,043百万円(前年同四半期比2.2%減)、営業利益は97百万円(前年同四半期比55.8%減)、経常利益は102百万円(前年同四半期比55.4%減)及び親会社株主に帰属する四半期純利益は55百万円(前年同四半期比64.3%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

<公共分野>

定例業務である住民税・健康管理・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険等の受託処理及び総合行政情報システム等のシステム保守のほか、基幹系システムのリプレイス、自治体情報セキュリティ対策における機器等のリプレイス、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金への対応、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金や出産・子育て応援交付金への対応、インボイス制度等の各種法制度改正への対応等により売上を確保したものの、前年同四半期と比べ、減収となりました。利益につきましては、前年同四半期と比べ、標準仕様システムの開発にかかる研究開発への投資が増加したことにより、減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,926百万円(前年同四半期比8.3%減)、営業損失は59百万円(前年同四半期は173百万円の営業利益)となりました。

<産業分野>

定例業務である口座振替、給与計算等の受託計算処理、インターネット接続サービス、リース業務パッケージ等のシステム保守及びデータセンターサービス提供のほか、リース業務パッケージ、販売管理システム、生産管理システム、医療機関向けの総合情報システムや電子カルテシステムの導入・リプレイス、民間企業向けの機器販売等により、売上を確保し、前年同四半期と比べ、増収となりました。利益につきましても、パッケージソフトウェアの売上が増加したことで利益が押し上げられ、前年同四半期と比べ、増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,117百万円(前年同四半期比15.7%増)、営業利益は139百万円(前年同四半期比246.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,478百万円減少し、18,701百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,059百万円、流動資産のその他が503百万円、商品が249百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が3,256百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して1,431百万円減少し、9,827百万円となりました。これは主に、未払法人税等が600百万円、長期借入金が288百万円、短期借入金が240百万円、買掛金が212百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して46百万円減少し、8,874百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益により55百万円、自己株式の処分により25百万円増加したものの、期末配当により140百万円減少したことによるものです。

なお、自己資本比率は、47.4%（前連結会計年度末44.1%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ969百万円増加し、2,015百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は2,414百万円となりました。これは主に、法人税等の支払583百万円、棚卸資産の増加248百万円により資金使用したものの、売上債権の減少3,256百万円により資金獲得したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は755百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入120百万円により資金獲得したものの、有形固定資産の取得による支出373百万円、無形固定資産の取得による支出319百万円、定期預金の預入による支出210百万円により資金使用したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は691百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出295百万円、短期借入金の純減額240百万円及び配当金の支払による支出140百万円により資金使用したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、2023年10月17日公表の業績予想通りの結果となりました。

なお、第2四半期連結累計期間において前倒しで計上することができた売上及び利益は、2024年3月期末までに計上することを予定しておりました案件の一部であることから、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,333,930	2,393,133
受取手形、売掛金及び契約資産	6,755,265	3,498,888
リース投資資産	1,642,735	1,537,522
商品	169,819	418,941
原材料及び貯蔵品	44,478	44,109
その他	558,927	1,062,449
貸倒引当金	△5,074	△691
流動資産合計	10,500,081	8,954,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,510,391	4,366,584
その他（純額）	2,161,090	2,234,606
有形固定資産合計	6,671,482	6,601,191
無形固定資産		
ソフトウェア	1,499,609	1,359,568
その他	17,438	306,480
無形固定資産合計	1,517,047	1,666,049
投資その他の資産		
その他	1,500,445	1,489,901
貸倒引当金	△9,628	△10,346
投資その他の資産合計	1,490,816	1,479,554
固定資産合計	9,679,346	9,746,795
資産合計	20,179,428	18,701,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,212,954	1,000,052
短期借入金	2,652,000	2,412,000
1年内返済予定の長期借入金	586,684	578,686
未払法人税等	633,630	33,201
賞与引当金	609,272	614,774
製品保証引当金	14,939	14,223
その他	1,751,365	1,765,652
流動負債合計	7,460,847	6,418,589
固定負債		
長期借入金	1,294,000	1,006,000
退職給付に係る負債	1,329,011	1,301,619
その他	1,174,529	1,100,859
固定負債合計	3,797,540	3,408,479
負債合計	11,258,387	9,827,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,086,700	1,076,164
利益剰余金	8,172,528	8,087,485
自己株式	△1,841,952	△1,806,072
株主資本合計	8,812,759	8,753,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,410	83,138
退職給付に係る調整累計額	23,363	24,372
その他の包括利益累計額合計	94,773	107,511
新株予約権	13,507	13,507
純資産合計	8,921,040	8,874,079
負債純資産合計	20,179,428	18,701,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,203,916	7,043,406
売上原価	5,067,420	4,795,365
売上総利益	2,136,496	2,248,040
販売費及び一般管理費	1,915,687	2,150,505
営業利益	220,808	97,535
営業外収益		
受取利息	17	46
受取配当金	10,138	10,197
受取保険金	4,879	—
その他	5,486	3,922
営業外収益合計	20,522	14,166
営業外費用		
支払利息	10,170	8,008
その他	147	776
営業外費用合計	10,318	8,784
経常利益	231,013	102,917
特別損失		
固定資産除却損	—	3,356
投資有価証券評価損	1,256	—
特別損失合計	1,256	3,356
税金等調整前四半期純利益	229,756	99,561
法人税、住民税及び事業税	64,390	7,307
法人税等調整額	10,006	36,854
法人税等合計	74,396	44,161
四半期純利益	155,360	55,400
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,360	55,400

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	155,360	55,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,663	11,728
退職給付に係る調整額	6,817	1,009
その他の包括利益合計	△9,845	12,737
四半期包括利益	145,514	68,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,514	68,137
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	229,756	99,561
減価償却費	394,031	384,914
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18	△3,664
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△939	5,502
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8,344	△25,940
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2,387	△716
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,103	—
受取利息及び受取配当金	△10,156	△10,243
支払利息	10,170	8,008
受取保険金	△4,879	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,256	—
固定資産除却損	—	3,356
売上債権の増減額 (△は増加)	2,984,487	3,256,376
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△309,004	△248,753
立替金の増減額 (△は増加)	411,395	△148,873
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,245,655	△212,902
その他	△629,809	△111,447
小計	817,836	2,995,177
利息及び配当金の受取額	10,075	10,182
利息の支払額	△16,773	△7,307
保険金の受取額	4,879	—
法人税等の支払額	△109,542	△583,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	706,476	2,414,442
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150,000	△210,000
定期預金の払戻による収入	120,000	120,000
有形固定資産の取得による支出	△332,145	△373,242
無形固定資産の取得による支出	△20,249	△319,227
投資有価証券の取得による支出	—	△2,000
その他	△1,641	29,124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384,037	△755,345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△240,000	△240,000
長期借入金の返済による支出	△175,998	△295,998
リース債務の返済による支出	△17,704	△14,871
配当金の支払額	△90,126	△140,442
その他	1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△523,827	△691,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,083	1,418
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△199,305	969,202
現金及び現金同等物の期首残高	1,216,998	1,045,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,017,692	2,015,133

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(資本業務提携及び第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2023年10月31日開催の取締役会において、TOPPANエッジ株式会社との間で、同日付で資本業務提携に関する契約を締結し、同社を処分予定先とする第三者割当による自己株式の処分を行うことについて決議いたしました。詳しくは、本日公表の「TOPPANエッジ株式会社との資本業務提携、第三者割当による自己株式の処分及び主要株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。